

会 員 各位

令和 7 年 1 0 月 1 6 日

公益社団法人八幡薬剤師会
会 長 有 吉 浩 文

令和 7 年度第 7 回八幡薬剤師会学術研修会のご案内 (製鉄記念八幡病院 がん化学療法・緩和ケア研修会)

平素より、本会事業にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今回は製鉄記念八幡病院 がん化学療法・緩和ケア研修会として、下記の内容で研修会を開催いたします。

受講のお申し込みは、11月7日(金)までにお願いいたします。

記

日 時： 令和 7 年 1 1 月 1 3 日 (木) 19:30～21:05

場 所： 八幡薬剤師会館および web 研修 (Zoom 配信)

内 容： 19:15～19:30 商品説明 イノソリッド配合経腸用半固形剤
大塚製薬

19:30～21:05

①「当院におけるがん化学療法連携充実加算の取り組みについて」

製鉄記念八幡病院 薬剤部 秋山耕治

②「当院の制吐療法とステロイドスペアリングについて」

製鉄記念八幡病院 薬剤部 吉田要芽

③「早期からの緩和ケアの重要性とその実践について」

製鉄記念八幡病院 薬剤部 船越康太

要 旨： 2020 年 4 月の診療報酬改定により、医療機関と保険薬局との連携強化などを通じてがん患者に対するより質の高い医療を提供することで連携充実加算が算定可能となり、製鉄記念八幡病院（以下、当院）でも薬剤師による外来化学療法室の患者の面談および保険薬局への情報提供を行っている。講演 1 ではこれまでの取り組みと今後の課題について述べる。

2023 年に制吐剤適正使用ガイドラインが改訂され、約 2 年が経過した。現在では最新の制吐療法も徐々に浸透してきたと考えられる。講演 2 では改訂ガイドラインの中でもステロイドスペアリングに焦点を当て、当院における制吐療法の現状や実践の工夫について述べる。

がん患者の痛みの有病率は初診時で 25%、積極的治療期で 30%程度と言われている。

治療期においては、がん性疼痛以外にも抗がん剤による末梢神経障害なども問題となり患者の QOL を低下させる。また痛みは不安や抑うつの原因となり、さらに痛みの増悪を引き起こす。講演 3 では治療期における早期からの緩和ケアの重要性について述べる。

受 講 費： 八幡薬剤師会正会員（A 会員・B 会員）と学生：無料
他地区薬剤師会会員：500 円
非会員：3,000 円

申 込 み： 【参加登録】 八幡薬剤師会会員・八幡地区非会員・直方鞍手薬剤師会会員の方は、下記 URL または QR コードから日薬研修プラットフォームにお申込みください。



<https://nichiyaku.manaable.com/login>

※受講費を納められた直方鞍手薬剤師会会員・非会員の方には、プラットフォームよりメールが届きます。

受講費振込先：福岡ひびき信用金庫 本店営業部

普通 1073984 公益社団法人八幡薬剤師会

単 位： 日本薬剤師研修センター研修単位 1 単位

- ・ Zoom へのログインは、必ずご自身のお名前をお願いいたします。
- ・ 19 時 30 分までにログインしていない方、途中退出の方、継続したログインが確認できない方、司会より退出の連絡がある前にログアウトした方は、受講単位の認定は行えませんので、ご注意くださいようお願いいたします。

以上